



高速しが

平成30年
11月号

発行 滋賀県高速道路交通安全協議会・滋賀県高速道路交通警察隊

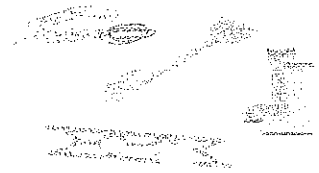
降雪期を迎えます



冬の装備・対策は早めに準備!

冬期には、積雪や道路の凍結による交通事故が多くなります。出発地では晴れていても、通過地点や目的地では天候が急変し突然の降雪に見舞われることがあります。

冬の高速道路では、降雪期を迎え天候の急変に慌てないように、早めに冬用タイヤに交換し、タイヤチェーン、牽引ロープ、スコップ等、事前の準備を早めにおきましょう。



走行前の点検整備は念入りに!

☑ バッテリー

冬期はバッテリーの消耗が激しくなります。出発前、整備工場等でチェックしておきましょう。

☑ 不凍性軽油の補給

普通軽油は零下10度C以下で凍結の恐れがあります。寒冷地に入ったら不凍性軽油を補給しましょう。

☑ 燃料は満タン

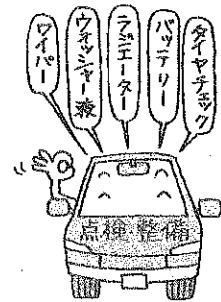
雪道は普段より燃料消費が早いので、常に燃料計で確認しましょう。

☑ ワイパーブレード

ゴムの劣化をチェック。できれば雪に強い冬用のブレードに交換。

☑ ラジエーター&ウォッシャー液

寒冷地では不凍性のものに入れ替えましょう。ウォッシャー液は大量に消費するので必ずチェック。



過信の陰に危険が潜む

雪道、凍結路にはテクニックもテクノロジーも通用しない、予期せぬ状況が潜んでいます。過信しない、無理しない運転を心がけてください。

高速道路の安全走行ポイント

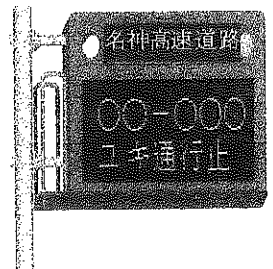
冬期の高速道路では、凍結等予期せぬ道路状況によって多重事故に発展することが多々あります。

気象状況や路面の変化をしっかりと読み取り、状況に応じて危険を予測した運転に心がけてください。

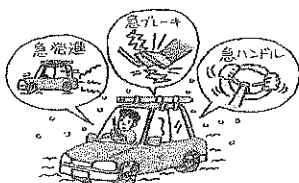
※ 交通規制を確かめてから進入する

降雪、凍結等によって渋滞や時には通行止めとなることがあります。

高速道路を利用する際は、交通情報板や各種の案内から交通情報を早期に入手し、交通規制を確かめてから進入することが大切です。



※ ランプウェイには速度を確かめてから進入する



ランプウェイのカーブ地点や料金ゲート付近では、車両から落下した雪が凍結しアイスバーン状態となります。急加速急減速がスリップ事故を誘発することを認識し、焦らず慌てず「スピードコントロール」で安全に走行するようこころがけましょう。

※ 自分の判断だけで運転するのは危険

自分のペースが基準ではありません。

車の流れや速度の変化による車間距離の急激な詰まりや、無理な車線変更によって生ずる他への危険を予測して、慎重な運転を心がけることで事故を防げます。



※ 路面状況の変化や雪煙にも十分警戒

凍結注意

切り通しや高架、橋梁部、トンネルなど、路面状況の変化が予測されるところでは、スピードを落として走行してください。

また、追い越した車が巻き上げる雪煙等で、突然視界が奪われることがあります。降雪中は勿論、融雪時の走行にも十分注意してください。